

こんにちは 野々市市議会です

女性センター
水引で風鈴を作りました



野々市公民館
七夕
フェスティバル

令和8年度一般会計補正予算

物価高対応をはじめ7,667万7千円を増額

令和8年第2回6月定例会は、6月8日から6月29日まで開かれました。

6月定例会では、令和8年度一般会計補正予算をはじめ議案20件、諮問1件、請願1件、議会議案1件が上程され、議案・諮問・議会議案は可決・承認・同意・適任とされ、請願は不採択となりました。

一般会計補正予算では、物価高によるじょんからまつり開催の費用をはじめ、文化会館非常用発電機更新に向けた実施設計などを増額しました。

6月定例会議案審議

.....1P

6月定例会一般質問 14人

.....2P

議決結果一覧・9月定例会日程

....16P



西村 雅博 議員
(のいち市民の会)

潜在的なハラスメントの実態を把握すべく、アンケート調査が必要と考える。

職員の意向をくみとるには、どのような方法が最も良いのか、アンケートの実施も含め、調査していく。

A 市長 ● 自転車通行空間の整備につぎましては、自動車の規制速度、交通量などの交通状況や車道・歩道の道路状況を踏まえ、「矢羽根型路面標示」の注意喚起を行う。警察とも相談のうえ、それぞれの道路の状況に応じた対応を考える。

Q 安全な自転車通行のための道路標示として、「自転車専用通行帯」の設置が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

A 総務部長 ● 改正に合わせて、広報紙では、自転車の交通ルールに関する特集記事を掲載、ホームページにも安全利用を呼び掛けるページを新設した。市民対象の公開講座や教職員、PTAをはじめ、ボイスカウトなどが活動している場に出向くなど、積極的な啓発に努めている。引き続き、白山警察署をはじめ、関係機関と連携しながら、啓発に努めていく。

Q 自転車の交通違反に対する反則金制度が導入された。どのような市民啓発活動を実施するのか、市長の見解を伺う。

道路交通法改正に伴う本市の対応

A 建設部長 ● 植樹から相当年



強風にて落枝

Q 今後の立木管理の手法の一つとして、A-1（人工知能）を活用した樹木診断を提案する。市長の見解を伺う。

A 建設部長 ● 日常のパトロールなどのほか、市民の皆様からの連絡に基づき、現地目視による外観の確認に努めている。危険が予測される樹木を発見した際には、対応策を協議し、速やかに処置を施すなど、倒木の未然防止に努めている。倒木実績は、台風や積雪等の不可抗力による突発的なものが、年間数件発生しているが、重大な被害はない。

街路樹や公園立木の倒木防止の対応

Q 本年3月に、他国からの武力攻撃を受けた際の避難先となる「緊急一時避難施設」いわゆる緊急シェルターの確保に向け、政府が新たに策定する基本方針の概要が公表された。緊急シェルターの確保について、市長の見解を伺う。

市民保護について

A 市長 ● 基本方針では、既存のコンクリート造りの堅牢な建物や地下施設の指定を一層促進することとされており、ミサイル攻撃などの緊急時に市民が迅速に身を寄せ、安全を確保できる公的施設のみならず民間施設も含めて確保していく。本市においても、小中学校や地下道などの公共施設が避難場所となるが、協力いただける民間施設を含め、避難場所を増やしていく。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/uQPlzGYruOc>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



中村 義彦 議員
(自民野々市)

北陸鉄道石川線工大前駅舎建て替えに伴う駅前再開発の考え方を問う

地元住民や商工会との意見交換を踏まえ将来の利用を見据えた整備を行う

来年横浜で開催される花博への野々市ツバキの参加を検討してみればどうか

Q 北陸鉄道石川線工大前駅前再開発と北国街道やカミノーとの連携はどのように考えているのか。北国街道、カミノーでのイベント開催時には毎回駐車場不足が問題になっており、公共交通利用促進の観点からも北陸鉄道利用促進に努めるべきと考えるが工大前駅再開発時に何らかの施策を考えているのかを問う。

A 市長 ● 各種イベントとの連携としてはカミノーで「カリーフェス」における「お帰り無料さつぷ」の配布や「北国街道野々市の市」へのブースの出展も行われており、今後このような連携を増やしていくことにしており、加えて本市では公共シェアサイクル「まちのり」を導入し「野々市工大前駅」にサイクルポートの設置を行い電動アシスト付き自転車を配備して駅からの二次交通としてシェアサイクルが利用可能になることから北陸鉄道石川線の利用促進につながるものと期待する。

Q 野々市市では平成十三年に文化事業補助金取扱要綱を制定し野菜神輿、市内各獅子舞、各虫送りなどに文化事業補助金を交付しているが近年の物価高が各団体の活動に重くのしかかっている。そこで補助金の制定から二十五年がたっており、そろそろ補助金の増額を検討すべき時期にきていると思うが市

二十五年度経過後している文化事業補助金見直しの検討を行うかを問う

A 市長 ● 石川県では出展内容や方向性などは概ね固まっているとのことだが、しかしながら市花木ツバキをまちづくりの象徴としている本市にとっては国内外の方々に野々市市を知って頂くよい機会であるので県の方と相談していきたいと考えている。

Q 来年横浜で開催される花博へ石川県もブースを設けると聞いているがそこに野々市市の市花木であるツバキの品種「野々市」の出展を石川県に働きかけてみればどうか。野々市ツバキを国内外にアピールする良い機会になると思われるが市長の考えを問う。



豊年野菜神輿

A 市長 ● 市内各獅子舞、野菜神輿、虫送りなどの地域の伝統的な民俗芸能は本市の貴重な財産であり、こうした豊かな文化は永く継承していくべきであり、そのため本市では郷土芸能を伝承する団体などに活動に要する費用の一部を補助している。また一般財団法人などが行うコミュニケーション助成事業を活用し各団体が円滑に助成が受けられるよう支援も行っており他の助成制度も利用いただけるよう支援を行っていききたい。また市が交付する助成金の見直しについても様々な角度から検討していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/DpAb-hXneoE>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員
(日本共産党)

中央公園拡張整備事業(新体育館建設等)は「身の丈に合った計画に」見直しを

将来世代に過度な負担を残さないよう身の丈に合った計画になるよう検討していきたい

A 市長 ● 選択と集中という中で市民の皆さんの御要望も

選択と集中で市民要望に取り組み

A 総務部長 ● 中東情勢や金利・物価上昇など、不確実性の高い状況の中で大型事業に加え、老朽化した公共施設の長寿命化や、公立松任石川中央病院の増改築や新斎場の建設に要する負担金など、多額の費用を要する計画もあり、厳しい財政状況が続くものと見込んでいます。

Q 中央公園拡張整備事業で、2030年度後半の体育施設稼働を見込んで事業を進めた場合の経常収支比率を、資材費の値上がりや人件費の上昇等で施設事業費を100億円と見込んだ場合は98・4%、計画当初の70億円と見込んだ場合は97・6%、上物なしで土地整備のみと見込んだ場合は95・9%としているが、10年後、15年後の財政状況と、市民要望を叶えるための展望を示せ。

現行計画では経常収支比率の上昇で財政の硬直化が不可避免に市民要望を叶える展望を示せ

将来世代に過度な負担を残すことなく市政を継続させていくということが大切と思っており、身の丈にあった事業計画となるよう検討していきたい。

A 市長 ● 将来にわたって市の財政を圧迫することがないよう、持続可能な事業計画をこれから知恵を絞っていかねければいけない。今年度は金融機関や行政機関などで構成をいたしておりますしかわPPP/PPF地域プラットフォームの参画企業の知見も生かしながら、中長期的な財政シミュレーションや整備手法、事業スキームの検証を行いたい。

A 市長 ● 将来にわたって市の財政を圧迫することがないよう、持続可能な事業計画をこれから知恵を絞っていかねければならない。今年度は金融機関や行政機関などで構成をいたしておりますしかわPPP/PPF地域プラットフォームの参画企業の知見も生かしながら、中長期的な財政シミュレーションや整備手法、事業スキームの検証を行いたい。

Q 小中学校の建物の長寿命化事業を始めとする教育施設、福祉施設等々の更新・整備事業が続くなか、今後、公立松任石川中央病院の建設費、新斎場建設費の新たな負担増もある。身の丈に合った計画に見直しが必要では。

A 市長 ● あくまで職員個人のあるべきと考えており、任命権者や上司が特定の職員に強要したり、職務命令のように扱ったりすることは断じてない。

A 市長 ● あくまで職員個人のあるべきと考えており、任命権者や上司が特定の職員に強要したり、職務命令のように扱ったりすることは断じてない。

Q 予備自衛官等の職務の円滑な遂行を図るための国家公務員及び地方公務員の兼業の特例に関する法律が賛成多数で可決・成立した。法律の目的に鑑みると、第1に、自治体職員に対して予備自衛官補に「志願」することを推奨する組織的圧力になる懸念がある。任命権者や上司による「推奨」は、職務上の上下関係が存在する以上、第2に、部下にとっては事実上の「職務命令」に近い強制力を持つ恐れがあることから、第3に、予備自衛官等への登録の有無が人事評価に悪用されるなどで無言の圧力が働くことになる懸念がある。第4に、そうなれば、市の職員採用に影響する恐れがあるのではないか。

職員に任命権者や上司による「予備自衛官」志願の推奨や職務命令があってはならない



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/v3uvwpeAPKI>

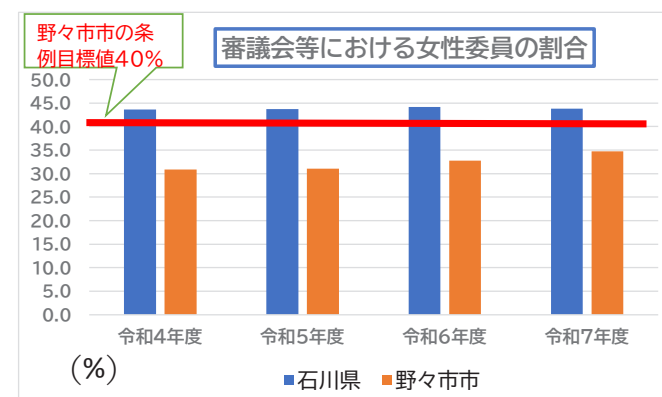
一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



中村 和流 議員
(のいち市民の会)

野々市市男女共同参画推進条例の女性委員比率「4割基準」の達成時期を問う

前倒しでの達成を目指す



A 市長 ● 市民協働のまちづくりを推進するにあたり、男女が社会の対等な構成員として、あらゆる施策の立案および意思決定の過程に参画する機会の確保は、大変重要。本市では、審議会等における女性委員の割合を令和13年度までに40%とする目標を掲げていますが、令和8年度は36・9%でした。

Q 2004年に制定された「野々市市男女共同参画推進条例」の意義と目標を伺います。石川県では女性比率4割を令和元年に達成し、次の目標は5割です。

A 市長 ● 「身寄りのない高齢者等」の定義と、実態把握、現状の課題を伺います。

A 市長 ● 「頼れる親族がいない、又は親族がいても支援が期待できない方」と定義しています。具

A 市長 ● 「野々市市第3次男女共参画プラン」の最終年の2031年を待つことなく、前倒しでの達成を目指します。

Q 条例で定めた「10分の4未満、いわゆる4割に」についていつまでに達成するのか。具体的なスケジュールを伺います。

Q ケアマネジャー等に本来業務以外の支援、いわゆる「シャドーワーク」が発生している状況を、市としてどう解消するかを伺います。

A 市長 ● 国会審議中の改正社会福祉法では、金銭管理や、葬儀・納骨などの「死後事務」を社会福祉協議会等で支援する体制整備が盛り込まれる見込みです。これを踏まえ、市社会福祉協議会とともに、身寄りのない高齢者等の支援と、現場ケアマネジャー等の負担軽減に向け、具体的な検討を行います。

Q 本市では、中学2年生を対象に任意の生活習慣病等検査(採血)を学校で実施していますが、学校で医療行為である採血を行うのは、本市と金沢市のみで、見直しを求めます。

A 教育部長 ● 医療機関受診方式への見直しを検討します。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/JD69FypMohI>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



向田 誠市 議員
(自民野々市)

放課後児童クラブにおいて虐待問題を起こした「佛子園」の契約を破棄し再公募すべき

法人から提出される改善計画書に基づき立ち入り調査や現地確認を継続的に実施し、適正な運営が見極めていく方針です

Q 中学校の部活の地域移行問題の件

A 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/NKOyf4EIC9w>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



三納 昭博 議員
(自民野々市)

大雨による雨水の被害を抑えるため、用水の管理などは白山市と金沢市の連携が必要では

「手取川・梯川水系流域治水協議会」などを通じて、国・県・近隣自治体との連携を強化し、取り組みたい

Q 本市における公共交通の今後について

A 本市と白山市とのコミュニティバスの相互乗り入れにより利用者の利便性が上がっているが、今後の地域コミュニティバスの在り方と展望について伺う。

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、

Q 建設や改修を行う専門部署を作ることです。スキルを備え、データの集約が有益と考えるが、市長は各施設の状態に精通した担当課が、改修工事を含む営繕事務を担っている。また、建築士事務所の委託のほか、



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/lqJ46acecyE>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



小堀 孝史 議員

拠点避難所以外の自主避難所に避難した 避難者への支援はどのように実施するのか

国の防災基本計画に沿って、市の地域防災計画を
修正して各種マニュアルを整備して取り組む

- Q** 近年、災害時に、在宅や車中泊避難する人が多くみられ、多様な避難先で生活を送る避難者に対して、どのような支援を実施していくのか。
- A** 市長 ● 国の防災基本計画において、避難所以外に滞在する避難者への支援が明確に位置付けられました。今般、市の地域防災計画を修正し、車中泊や在宅避難者に対する食料や物資の提供、情報の伝達などを追記し、今後、避難者の避難先にかかわらず、適切な支援が行き届く体制を構築します。
- Q** 避難判断マニュアルを検討しては
- A** 市長 ● 避難行動は、自宅が新しいノ古いだけでは避難先の判断は難しく、在宅避難も選択肢となっている昨今、避難先を決める際の判断材料を得ることができるようなマニュアルを考えてはどうか。
- A** 市長 ● 能登半島地震では、自宅や車中などに避難された方が多くみられました。内閣府は、市民一人ひとりが、主体的に避難判断することを基本にしており、本市としても、避難の際の判断の参考になるような例示に努めてまいりま

- Q** 避難者情報をリアルタイムで集約・共有化の仕組みづくりは
- A** 市長 ● 本市は石川県総合防災ＤＸシステムにおいて、災害対策本部における情報可視化環境や障害時のバックアップ体制などの整備状況について伺う。
- A** 市長 ● 本市は石川県総合防災システムを運用しており、現場からの被害状況や写真が位置情報と連動して即座に送信され災害対策本部ではリアルタイムで把握できる体制を整えています。通信手段のバックアップ体制は防災行政無線や衛星電話を配備して、情報の伝達が途絶えないようにしています。
- Q** 危機管理センターを常設しては
- A** 市長 ● 本市は庁舎において災害時に司令塔となる危機管理センターを白山市のように常設すべきと考えるが。
- A** 市長 ● 本市は庁舎において情報収集から発信までを実行できる体制を整えており、情報発信についてもテレビ放送と連動する「Ｌアラート」等を効果的に運用して市民の皆様の安心・安全を担って

- Q** 災害時の庁舎機能の維持は？
- A** 市長 ● 万が一、停電した場合、は災害協定先より移動電源車を派遣して頂き外部給電を行い災害対策本部の機能を維持します。また、災害対策本部は代替施設として、富奥防災コミュニティセンターに移設する計画としています。
- Q** 本市庁舎へ浸水して庁舎が停電した場合は、行政機能を維持するためのバックアップと代替措置はどのようなになっているか。
- A** 市長 ● 万が一、停電した場合は災害協定先より移動電源車を派遣して頂き外部給電を行い災害対策本部の機能を維持します。また、災害対策本部は代替施設として、富奥防災コミュニティセンターに移設する計画としています。
- Q** 地下設備を上層階など安全な場所への移設・代替設置は
- A** 市長 ● 建物の２階以上へ設備を移設・分散配置することは、機器の重量に耐えうる建物の構造強度や耐荷重の確保など、多くの課題がありますので難しいと思っています。また、庁舎の建物は止水板で地下への浸水を食い止めます。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/lb1KmyEAggQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



梅野智恵子 議員
(ののいち市民の会)

本市がモデル雇用主として、障害のある方が希望をもてる就労環境づくりを

本市がモデル雇用主として先導的な役割を
果たし、障害者雇用の促進に努めていく

- Q** 法定雇用率引き上げを見据えた本市障害者雇用の充実について
- A** 市長 ● 本市障害者活躍推進計画の①推進体制②相談支援体制③職員の理解促進 に向けた具体的な取組を伺う。
- A** 市長 ● ①人事担当課を中心に推進体制を維持し、個々職員の状況や現場に応じて保健師などと連携しながら適切な職場環境の維持に努める。②相談員の計画的な増員を進め、相談支援体制の確保に努める。③管理職研修を強化し、合理的配慮への理解促進など職場環境づくりを進める。
- Q** 募集・採用における情報提供のあり方や、障害特性に応じた条件の柔軟性や合理的配慮について伺う。
- A** 総務部長 ● 今後はハローワークに加え、市公式ＨＰや広報誌、SNSへの掲載を行うなど、より多くの方に情報が届くよう周知に努める。また、障害特性に応じた条件の柔軟性につながるよう、相談に応じる旨を募集要項に記載するなど、「この条件ならできるかも」と

- いう思いを持っていただけるような募集に努めたい。
- Q** 障害がある方が希望をもてる就労環境づくりについて、市長には自治体運営の観点から、教育長には教育行政の観点からご所見を伺う。
- A** 市長 ● 全ての職員が互いに理解し尊重し合える職場風土を醸成し、デジタル技術の活用や職場環境の改善を進めながら就労環境の整備に取り組む。
- A** 教育長 ● 障害のある方が安心して働ける職場環境を作ることは、子どもたちが共に助け合い支え合う大切さを学ぶ上でも大変重要であり、今後とも市長部局と連携し、魅力ある就労環境の整備に取り組む。
- Q** 本市災害ボランティアセンター（ＶＣ）を中心とした官民連携体制の実効性を伺う。
- A** 健康福祉部長 ● 平時からの災害ボランティアネットワークの連携体制を強化し、本市災害

- ＶＣの連携と機能向上を図るとともに、国の「被災者援護協力団体登録制度」登録団体の活動実績等を情報共有し、被災時の円滑な支援要請につながるよう取り組む。
- Q** 本市子ども計画の推進と切れ目のない支援について
- A** 市長 ● 野々市市子ども計画の策定から１年。支援体制の評価と部局横断の連携方針を伺う。
- A** 市長 ● こども家庭センターの設置により、母子保健部門や教育委員会との連携強化が進み、発達相談センターと教育センターによる情報共有を通じて、支援が必要な家庭の早期把握につながっている。一方、支援ニーズの多様化・複雑化に伴い、制度の狭間に置かれるケースもあり、引き続き改善の余地がある。今後は、部局横断の連携や情報共有、職員の相互理解と専門知識の共有を進め、横断的な支援体制の充実を図る。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 https://youtu.be/TlrMgXJls_Q

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



田中 陽子 議員
(自民野々市)

災害時のペットの同行避難について 伺う

拠点避難所での受け入れ場所や配置 を具体的に検討する

Q ペット同行の避難の訓練の実施について伺う。

A 市長 ● ペット同行による避難訓練は現時点で実施時期、内容は未定であるが、今年度実施を予定している。専門家から助言をいただきながら、ペット専用スペースの配置や、避難時のルールづくりなど具体的な訓練内容を検討していく。ペット避難訓練の詳細が決まり次第、市民に呼び掛ける。

Q 家族同様のペットの災害時の同行避難について本市の対応を伺う。

A 市長 ● 能登半島地震では周外での不自由な避難生活が発生し、また避難先でもペットとの生活エリアの確保に苦慮された事例もあることから、本市の地域防災計画を改正し、ペットの避難スペースの確保に努めることや、獣医師会等の専門関係機関との連携に努めることを明記した。今後、拠点避難所ごとに施設利用計画を作成し、ペット同行避難の受け入れ場所や配置について具体的に検討する。

災害時のペット同行避難について

Q 家族同様のペットの災害時の同行避難について本市の対応を伺う。

A 市長 ● 能登半島地震では周外での不自由な避難生活が発生し、また避難先でもペットとの生活エリアの確保に苦慮された事例もあることから、本市の地域防災計画を改正し、ペットの避難スペースの確保に努めることや、獣医師会等の専門関係機関との連携に努めることを明記した。今後、拠点避難所ごとに施設利用計画を作成し、ペット同行避難の受け入れ場所や配置について具体的に検討する。

Q 福祉施設（高齢者、障がい者）児童保育等の管理運営について伺う。

A 健康福祉部長 ● 高齢者や児童、障害者の方が利用される福祉施設や事務所における虐待は利用者の尊厳を著しく傷つけるものであり、決してあってはならないことである。本市では各施設への立ち入りによる運営指導を行い、定期的に虐待防止体制の整備状況を調査している。また、虐待の通報を受けた際には、安全確保を最優先に状況確認を行い、国のガイドラインに沿った組織的な対応と継続的な改善状況の確認に努めている。加えて、配偶者暴力の防止等を目的に「野々市市虐待防止等協議会」を設置し、被害者の保護、事後の支援対応等の全般的にわたる総合的な取組みに対して協議している。

Q 福祉施設（高齢者、障がい者）児童保育等の管理運営について伺う。

A 健康福祉部長 ● 高齢者や児童、障害者の方が利用される福祉施設や事務所における虐待は利用者の尊厳を著しく傷つけるものであり、決してあってはならないことである。本市では各施設への立ち入りによる運営指導を行い、定期的に虐待防止体制の整備状況を調査している。また、虐待の通報を受けた際には、安全確保を最優先に状況確認を行い、国のガイドラインに沿った組織的な対応と継続的な改善状況の確認に努めている。加えて、配偶者暴力の防止等を目的に「野々市市虐待防止等協議会」を設置し、被害者の保護、事後の支援対応等の全般的にわたる総合的な取組みに対して協議している。

Q 就労継続支援B型事業所の工賃向上について伺う。

A 健康福祉部長 ● 国の基準において事業者側には一月当たり工賃の平均が三千円を下回ってはいけないことになっており、本市では物品の購入や優先的調達に取り組んでいる。また、障害のある方の「やりがい」や「社会参加」に繋がっていききたい。

就労継続支援B型事業所について

Q 就労継続支援B型事業所の工賃向上について伺う。

A 健康福祉部長 ● 国の基準において事業者側には一月当たり工賃の平均が三千円を下回ってはいけないことになっており、本市では物品の購入や優先的調達に取り組んでいる。また、障害のある方の「やりがい」や「社会参加」に繋がっていききたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/0pFH9piRkoQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



畠中 勝己 議員
(自民野々市)

放課後児童クラブ運営事業者について 都市公園の管理について

総合的評価に基づく運営事業者選定 公園の継続的管理に努める

Q 「すがはらクラブ」を今年四月から社会福祉法人佛子園が運営を担い始め、二カ月足らずで、他市において不祥事が明らかになった。何よりも「善意に基づく信頼性」という骨幹が求められている」事が大事と思うが市長の認識と見解を伺う。

A 市長 ● 子供たちの安全を預かる事業を担う上では、社会福祉法に掲げられた「良質かつ適切なサービスを安定的に提供する」という趣旨に基づき、社会から信頼される事が、事業運営の根幹を成すものと認識し、社会福祉法人が担うべき公共的な役割を再認識し、市民の皆様の信頼を回復できるよう誠実な運営に努めることを求めていく。

Q 今後事業者へのどのような要求を求め、指導していくのか、契約を続けていくのか、見解を伺う。

A 健康福祉部長 ● 本市が実施した特別監査において、「第一から第四すがはらクラブ」に、今般の一連の事案に関与した職員が在籍していないことを確認している。

放課後児童クラブ運営事業者について

Q 「すがはらクラブ」を今年四月から社会福祉法人佛子園が運営を担い始め、二カ月足らずで、他市において不祥事が明らかになった。何よりも「善意に基づく信頼性」という骨幹が求められている」事が大事と思うが市長の認識と見解を伺う。

A 市長 ● 子供たちの安全を預かる事業を担う上では、社会福祉法に掲げられた「良質かつ適切なサービスを安定的に提供する」という趣旨に基づき、社会から信頼される事が、事業運営の根幹を成すものと認識し、社会福祉法人が担うべき公共的な役割を再認識し、市民の皆様の信頼を回復できるよう誠実な運営に努めることを求めていく。

Q 都市公園の管理について、管理業務委託を町内会と結んでいる。業務内容は清掃業務として、公園施設の損傷など月一回以上の巡視などだが、過去五年間を見ても委託料の変化がほとんど無い状況である。草刈り機など機材の更新や、燃料及び消耗品なども物価高騰により厳しい状況と伺っている。市民協働を掲げる本市としては、市民の協力を必要とする行政側の支援の在り方について、現状に即したものであることが必要と思われるが、市長の見解を伺う。

A 市長 ● 公園は、「日常の憩いの場」であるとともに、「緊急時の避難場所」として、地域住民の皆様の安全安心、そして豊かな生活を支える上で、極めて重要な役割を担っている。本市では、現在百二十三か所の大小さまざまな公園や緑地があり、市民協働による町づくりを推進している。

都市公園の管理について

Q 都市公園の管理について、管理業務委託を町内会と結んでいる。業務内容は清掃業務として、公園施設の損傷など月一回以上の巡視などだが、過去五年間を見ても委託料の変化がほとんど無い状況である。草刈り機など機材の更新や、燃料及び消耗品なども物価高騰により厳しい状況と伺っている。市民協働を掲げる本市としては、市民の協力を必要とする行政側の支援の在り方について、現状に即したものであることが必要と思われるが、市長の見解を伺う。

A 市長 ● 公園は、「日常の憩いの場」であるとともに、「緊急時の避難場所」として、地域住民の皆様の安全安心、そして豊かな生活を支える上で、極めて重要な役割を担っている。本市では、現在百二十三か所の大小さまざまな公園や緑地があり、市民協働による町づくりを推進している。



電動草刈機

くりを一層推進する観点から、各町内会の身近な公園の維持管理については、市民の皆様ができる範囲で協力いただき、本市と町内会の間で「公園管理委託契約」を締結し、日常の維持管理をお願いしている。しかしながら、昨今の物価高騰、また高齢化の進展などにより、町内会による管理の継続が難しい状況であるとお聞きしている。市民の皆様は、引き続き維持管理にご協力いただけるよう、負担軽減や作業効率の改善に向け、昨年度、手押し式の草刈機二台を導入し、町内会への貸し出しを行ったところである。本市としては、町内会の皆様が無理なく持続的に管理できる環境を作っていくことが必要であると考えており、委託料の見直しや、貸し出し機材のさらなる増強など、実状に即した内容となるよう検討してまいりたいと考えている。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/gHmHgOqQpIo>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



木谷 直子 議員
(公明)

身寄りのない高齢者等に対応するため「終活情報登録事業」に取り組むべきだ

社会福祉協議会や地域包括支援センターと「終活情報登録事業」の実施に向け具体的な検討を進める

A 市長 ● こどもの安全安心を社会全体で守る観点から、民間事業者にも取組が進むことが重要。制度の周知や理解の促進、相談対応に努める。また、こどもの安全確保に積極的に取組む事業者が、適切に評価される環境づくりに努める。

Q 国の認定が必要な、放課後児童クラブや学習塾、スポーツスクール等、民間事業者への制度の周知・推進や相談支援は行うか。保護者が安心して選択できるよう「安全の見える化」にも取組むべきだ。

A 市長 ● 教員や保育士はもとより、送迎業務従事者など日常的にこどもと関わる職員を基本に、部活動の外部指導員や地域ボランティアについても対応していく。厳格な情報管理体制の構築にも努める。

Q 取組の義務がある市の管轄・認可する小中学校・保育所・こども園等において、こどもと日常的に接する従業者の範囲をどのように想定するか。また、犯罪歴情報のセキュリティ対策についても伺う。

こどもたちを守るための施策
(こども性暴力防止法)

終活支援とエンディングノートの普及・活用について

A 市長 ● 教育と福祉をつなぐ機能の重要性は今後さらに高まるものと考えている。SSWは重要な役割を担うものであり、県の派遣するSSWの活用や他自治体の効果的な取組を踏まえ、支援体制が充実するよう取組んでいきたい。

Q 市としてSSWを配置してはどうか。教育部と福祉部との連携強化が重要であり、今後の体制強化に向けた取組を伺う。

A 教育長 ● 学校が児童生徒や家庭に接する際は、教育委員会やこども家庭センターへ相談できる体制を整えている。必要に応じて教育・福祉・保健等の関係機関が集まり、ケース会議を開催するなどし、比較的早期に支援につなげられている。

スクールソーシャルワーカー
(SSW)の配置および体制の
拡充について



市のエンディングノート

A 市長 ● エンディングノートの取組は、具体的な話し合いをするためのきっかけづくりになり、本人の意思表示が困難となった際にも大変有効である。現在、配布しながら普及啓発に努めている。終活相談については、今後、より一層支援を強化できないか検討する。また、本市エンディングノートの事前登録情報項目拡充と、社会福祉法改正に基づき「終活情報登録事業」の具体的な取組について検討していく。

Q 高齢者が元気なうちからの終活支援が重要。本市が作成するエンディングノートの活用や、相談窓口を明確化するなど市の終活支援への前向きな取組を求める。

A 市長 ● エンディングノートの取組は、具体的な話し合いをするためのきっかけづくりになり、本人の意思表示が困難となった際にも大変有効である。現在、配布しながら普及啓発に努めている。終活相談については、今後、より一層支援を強化できないか検討する。また、本市エンディングノートの事前登録情報項目拡充と、社会福祉法改正に基づき「終活情報登録事業」の具体的な取組について検討していく。

単身高齢者の推移と身寄りのない高齢者の現状認識は。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/QXgXgtMOweA>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



北村 大助 議員
(自民野々市)

全天候型子ども遊戯施設整備はスピード感を持って実現していくべきだ。

現在、具体的な計画には至っておりません。

全天候型子ども遊戯施設については現在、具体的な計画には至っておりませんが、既存ストックの活用や近隣自治体における類似施設の利用促進

こうした声を踏まえ、私自身、子どもたちが笑顔でのびのびと過ごせる環境を整えていくことは、まちの大切な責任であると強く感じております。

本年1月から2月にかけて実施した「子育てしやすいまち」に関するアンケートにおきましても、子育て世代の皆様から、切実な声が数多く寄せられました。

A 市長 ● 屋内型の子どもの遊び場につきましては、天候に左右されることなく、安全に遊べる場として、子育て世帯からのニーズが高まっているものと承知を致しております。

Q 過去の市長答弁で、中央公園拡張整備事業の中で整備していきたい事をお示しいただいたが、ニーズが急速に高まっている。スピード感を持って実現していくべきと考える。

全天候型子ども遊戯施設整備
について

進、また、現在整備を進めております野々市中央公園拡張整備事業におきましても、親子が楽しめる要素を盛り込むことにより、子育て環境の充実を図ってまいりたいと考えております。

Q 新聞の一面に「こまつドーム廃止の方針」を宮橋小松市長がおっしゃった。こまつドームという複合的な屋内施設ですけれども、小松市は野球場が7つ・8つあるんです。

公共施設で小松市の自治体規模で言いますと当然それは縮小します。ただ、野々市は1個もないんです。全天候型子ども遊戯施設は金沢市のあめるんパークとか福井県のエンゼルランドをイメージするわけで、いわゆる児童館みたいなサイズ感を市民は求めている。

アンケートでリクエストがあった保育士さんの遠足等、学校教員からもまさにこれが詰まっているんです。中央公園拡張整備事業の区域内には、本心に夢が詰まっているんです。体育施設なり、この全天候型子ども遊戯施設を「3つも4つも造れ」って、我々言っているわけではないんです。

Q 中途半端なものを造ると、こまつドームみたいな築30年で廃止になれば一方で、金沢駅前の鼓門は建設当時、山出保市長は周りから批判があった。今になったらランドマークになっています。

公共施設っていうには、中途半端なものかどうかを含めて夢のあるものを造る必要がある。

A 市長 ● 私自身も、そういう環境をぜひ整えたいという思いはしっかりと持っているつもりであります。

ただ、現実の問題として具体的にどういう施設、どのようなものを整備していくかという事になりますと、いたずらに皆さんにまた大きな期待を抱かせるということであっても、それが実現出来ない場合、大変私自身も心苦しい思いになってまいりますので、具体的な話は大変申し訳ないですが、現時点では申し上げられませんが、その思いということはいくらと受け止めた中で、なんらかの形で実現をさせていきたいな、そのように考えているところでございます。

Q 全天候型子ども遊戯施設について市長の思いをお尋ねしたい。

A 市長 ● 私自身も、そういう環境をぜひ整えたいという思いはしっかりと持っているつもりであります。

ただ、現実の問題として具体的にどういう施設、どのようなものを整備していくかという事になりますと、いたずらに皆さんにまた大きな期待を抱かせるということであっても、それが実現出来ない場合、大変私自身も心苦しい思いになってまいりますので、具体的な話は大変申し訳ないですが、現時点では申し上げられませんが、その思いということはいくらと受け止めた中で、なんらかの形で実現をさせていきたいな、そのように考えているところでございます。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/8HTVer2Nqkw>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西本 政之 議員
(令和清栄)

中学校で行っている血液検査を見直す時期にきている

今後、医療機関での実施について検討していきたい

Q 小松市に次いで白山市が、プール授業を外部委託する。更新時には外部委託も選択肢とするということだが、既に老朽化が進んでいるのは事実である。外部委託すれば、プール授業が季節に縛られなくなり、子供たちの泳力が向上するというメリットがある。委託費用はかかるが、資材費や人件費が高騰している現在、更新も困難になることが予想される。今から試行に入り、外部委託への道筋を作るべきと考え

プール授業の外部委託について

A 教育部長 ● 児童生徒の予防接種が、学校における集団接種から、医療機関での個別接種が主流となっている現状や、学校で行う際の教職員の負担も考慮し、今後、医療機関での実施について検討していきたい。

Q 知事が公約に掲げた「習い事クーポン」について、知事は、事業主体は市町で、県は実施に当たって支援する役割が望ましいと主張している。知事の公約なのだから、県が主体で実施すべきと考えるがいかがか。

習い事クーポンについて

A 市長 ● 習い事クーポンの趣旨自体は一定の意義を有するものだが、

Q 先般、公共シェアサイクルまちのりの協定が締結されました。今回の協定は実証実験と伺っております。野々市工大駅・カミノー・IR野々市駅などに駐輪場を整備されると伺っております。そこで、北国街道・末松廃寺・御経塚遺跡など本市の売りとするところがある

Q 野々市小学校周辺水害対策工事について

A 市長 ● 基本方針を策定するた

Q 野々市小学校の床上浸水から一年近かつたが、周辺の水害対策工事が進んでいる配が現場に伝わっていない。進捗状況と対応策を伺う。

野々市小学校周辺水害対策工事について

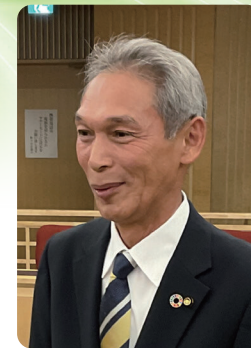
A 市長 ● 基本方針を策定するた



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/JG9T7QJKlaE>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



朝倉 雅三 議員
(無名)

期日前投票所を東西2か所設置せよ

期日前投票制度自体さらなる周知につとめる

Q 本市における期日前投票所は南北に2か所あります。東西2か所を新たに開設できないか、人繰りに大変かと存じますが選挙管

A 総務部長 ● 選挙管理委員会に代わって、答弁させていただきます。本市の投票率が低い現状について、その理由と致しましては、政治や選挙に対する関心の低さが挙げられており、特に、10代、20代の若年層の政治への関心の希薄化が、その背景にあると考えられます。都市化が進み、若い世代の方が多く住む本市においては、その影響が顕著に表れ、投票率の低下に結びついているものと分析しております。そうしたことから、若者への選挙啓発活動と致しまして、金沢工業大学や石川県立大学での啓発事業に加え、野々市明倫高等学校、明和特別支援学校高等部への選挙出前講座による模擬投票を実施するなど、若者の政治への関心を養うための取り組みに努めているところです。

Q 先般、公共シェアサイクルまちのりの協定が締結されました。今回の協定は実証実験と伺っております。野々市工大駅・カミノー・IR野々市駅などに駐輪場を整備されると伺っております。そこで、北国街道・末松廃寺・御経塚遺跡など本市の売りとするところがある

A 総務部長 ● 本市では現在、市役所および野々市駅に隣接する交遊舎2か所に期日前投票所を設置しております。この2か所南北のバランスとコミュニティバスの運行など投票所への交通手段を考慮した配置としてあります。「東西への増設」であります。有権者のさらなる利便性向上につながる一方で、投票所に配置する人員の確保や厳重な管理体制を長期間にわたり構築できる施設の確保、また、増設に要する費用など多くの課題もあります。そうしたことから、まず現在設置している2か所の期日前投票所について、よりスムーズに投票いただけるよう、運営効率をはかるとともに、期日前投票制度自体のさらなる周知に努めてまいりたいと考えております。

A 市長 ● 公共シェアサイクルのお話ですが、すでに金沢市が計画に基づいて取り組まれております。公共シェアサイクルまちのり、これを野々市市のほうにも拡大できないかということで金沢市と協定を結ばせていただいて、今、実証実験にこぎつたという状態です。令和9年度からの本格実施に向けて、例えばポートの設置場所についても、検討するためのデータを集めさせていただこうと思っております。議員ご指摘の趣旨ということについては、金沢市含めこの広域で取り組もうという思いの中で、取り組んでまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/LLd8tbnrl9U>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

令和8年6月定例会 議決結果一覧

○=賛成、×=反対

※所属会派は議決時点での会派を記載しています。

※会派等の名称：市民の会（ののいち市民の会）、共（日本共産党）、
令（令和清米）、無（無名）、公（公明）、議（議長）、副（副議長）

番 号	件 名	議 決 日	議 決 結 果	自民野々市						市民の会		共 同	令 西 本 政 之	無 朝 倉 雅 三	公 木 谷 直 子	議 安 原 透	副 小 堀 孝 史	
				三 納 昭 博	田 中 陽 子	畠 中 勝 己	向 田 誠 市	北 村 大 助	中 村 義 彦	中 村 和 流	西 村 雅 博							梅 野 智 恵 子
議案第25号	専決処分（令和7年度野々市市一般会計補正予算第8号）の承認について	6月29日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長は採決に加わりません。	○	副
議案第26号	専決処分（令和7年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算第3号）の承認について	6月29日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第27号	専決処分（令和7年度野々市市介護保険特別会計補正予算第3号）の承認について	6月29日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第28号	専決処分（野々市市税条例の一部を改正する条例）の承認について	6月29日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第29号	令和8年度野々市市一般会計補正予算（第1号）について	6月29日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第30号	野々市市印鑑条例の一部を改正する条例について	6月29日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第31号	野々市市職員等旅費条例の一部を改正する条例について	6月29日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第32号	野々市市立学校施設使用料条例の一部を改正する条例について	6月29日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第33号	財産の取得について	6月29日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第34号	財産の取得について	6月29日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	副
議案第35～44号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月8日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	副	
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	6月8日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	副	
請願第1号	「防衛装備移転案原則及びその運用指針を改定する閣議決定の撤回を求める」意見書の採択に関する請願書	6月29日	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	副	
議会議案第1号	社会全体で全てのケアラーを支援する仕組みの構築を求める意見書	6月29日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	副	

※議長は採決に加わりません。

表彰

全国市議会議長会表彰

北信越市議会議長会表彰

岩見博 議員

市議会議員として30年、市政の発展に尽くされた。

感謝状

全国市議会議長会感謝状

安原透 議員

全国市議会議長会大規模地震に備えた防災まちづくりの推進に関する特別委員会委員として、会の使命達成に尽くされた。



（左）安原透議員（右）岩見博議員

採択された意見書

社会全体で全てのケアラを支援する仕組みの構築を求める意見書
計4項目

人事

農業委員会委員

佛田 利弘
（上林二丁目）

宮崎 義一
（栗田二丁目）

伊藤 正浩
（下林四丁目）

本 光雄
（下林四丁目）

初野 健二
（押野一丁目）

千田 靖子
（新庄一丁目）

福田 康浩
（中林三丁目）

野村多実恵
（末松二丁目）

寺西 知子
（下林三丁目）

松本 咲子
（白山市）

人権擁護委員

中川 晃成
（位川）

9月定例会の予定

会期：8月31日(月)～9月24日(木)（25日間）

議会日程については、野々市市議会ホームページをご覧ください。

議会日程

検索

